

【土砂災害対策】

①大雨警報発表後、今後の降雨予測に基づいて「土砂災害警戒情報」が発表されます。山（がけ）崩れに伴う危険箇所または土石流に伴う危険箇所は近くに居住されている方は、自主的な避難を開始しましょう。（市は、土砂災害警戒情報等の情報を参考に「避難勧告等」を発令します。）

②土砂災害警戒情報の発表がなくても、場所によっては、局地的な異常現象も考えられます。普段と違う状況（前ぶれ現象）に気付いたら、まわりの住民に声を掛け、安全な場所に避難してください。（後で市に連絡してください。）

土石流と前ぶれ現象

土石流とは

谷や斜面に貯まった土・石・砂などが、梅雨や大雨により水といっしょになって、一気に流れ出してくるのが「土石流」です。破壊力が大きく、また速度も速いので大きな被害をもたらします。



前ぶれ現象

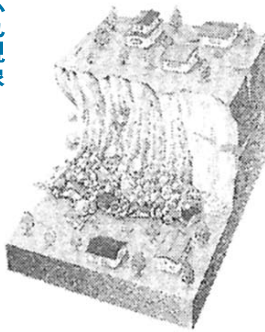
- ◎山鳴りがする
- ◎急に川の流れが濁り、流木が混ざっている
- ◎雨が降り続けているのに水位が下がった
- ◎腐った土の臭いがする



山（がけ）崩れと前ぶれ現象

山（がけ）崩れとは

地盤にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちるのが「がけ崩れ」です。突発的に起こり瞬時に崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、死者割合も高くなります。



前ぶれ現象

- ◎がけに割れ目が見える
- ◎がけから水が湧き出ている
- ◎がけから小石が落ちてくる
- ◎がけから木の根が切れるなどの音がする

地すべりと前ぶれ現象

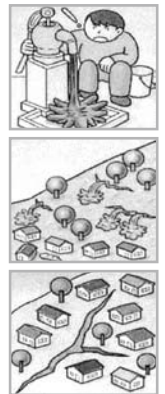
地すべりとは

比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層など滑りやすい面が地下水の影響などでゆっくりと動き出す現象です。一度に広い範囲が動くため、ひとたび発生すると住宅、道路、鉄道、耕地などに大きな被害を及ぼしたり、川をせき止めて洪水等を引き起こすことがあります。



前ぶれ現象

- ◎沢や井戸の水が濁る
- ◎地面にひび割れができた
- ◎斜面から水が噴出する
- ◎家や擁壁に亀裂が入った
- ◎家や擁壁、樹木や電柱が傾いた
- ◎斜面に段差がきたり、亀裂が生じた



③大雨警報解除後も土砂災害の可能性はありますので、避難場所から帰宅する場合は、事前に市の了解を得てください。

土砂災害に伴う危険箇所は、平成19年3月に配布した「小松島市洪水ハザードマップ（洪水・土砂災害）」で確認してください。ハザードマップは、小松島市ホームページにも公開しております。不明な点は、市防災監理課（市役所4階 ☎32・2227）までお問い合わせください。

市町村ごとに大雨や洪水などの気象警報・注意報を発表します!!

気象庁では、平成22年5月27日から、気象警報・注意報を、市町村単位で発表することになりました。例えば小松島市に災害発生のおそれがある場合、これまでは、小松島市を含む「徳島・鳴門」あるいは「徳島県北部」に対して警報・注意報を発表していましたが、今後は、「小松島市」を明示して発表します。

ただし、テレビやラジオ、または177天気予報サービスなどでは、市町村ごとに発表されている気象警報・注意報を簡潔かつ短時間で伝える必要があるため、これまでどおりの地域名で放送される場合があります。

市町村ごとの気象警報・注意報の詳細な内容は、気象庁ホームページ

（アドレス<http://www.jinago.jp/>）

や国土交通省防災情報提供センターの

携帯電話サイト

（http://www.mlit.go.jp/saigai/bosai_joho/index.html）

に掲載しております。



防災情報提供センター
携帯端末用QRコード

お問い合わせは、徳島地方気象台防災業務課（☎088・626・0676）まで。